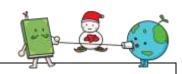
# 学習課題(小学校6年生)

### 【社会】



<学習内容>教科書歴史編「町人の文化と新しい学問」

- ◆江戸時代後半の文化や新しい学問について取組シートやノートにまとめよう。
  - (1) 江戸や大阪のまちの様子について、教科書 90~91 ページを参考に調べて、下の( ) に言葉を書き入れましょう。
    - ・江戸には、各藩のやしきが置かれ、武士や町人などで人口が (① )万人にもなった。
    - ・江戸の両国橋は、(②にぎわっていた。
- )川にかかる橋で、たくさんの人で
- ・江戸や大阪のまちでは、商業が発達し、武士以外の人々の中にも、 (④) )や(⑤) )に親しむ人が現れるようになった。
- ・大阪は、(⑥

- )として全国から産物を集めた。
- (2) 江戸時代の中ごろから、<u>歌舞伎</u> ことば(P91) や<u>浮世絵</u> ことば(P93) が人々にとっての大きな楽しみとなりました。歌舞伎と浮世絵について、教科書 92 ~93 ページを参考に調べ、下の表にまとめよう。

## 【歌舞伎·人形浄瑠璃】

(① )の作品は、力をつけてきた(② )のいきいきとしたすがたや義理人情をえがき、人々に親しまれた。

, 力をつけた 町人の 文化が栄える

#### 【浮世絵】

- (③ )の作品である「東海道五十三次」は、大量に印刷され、江戸からふるさとへのみやげとしても人気だった。
- (3) ヨーロッパの新しい知識や学問がオランダを通じて伝わり、**蘭学 ことば**(P95) と呼ばれ、西洋の学問を学ぶ人々が増えました。鎖国を続けていた日本にとって、蘭学は社会にどのようなえいきょうを与えたか、教科書 94~95 ページを参考に調べ、取組シートやノートに書いてみよう。
- (4) 江戸時代後半、蘭学だけでなく、日本古来の考え方を研究する<u>国学</u> ことば(P96) も人々の間に広がりました。国学は、社会にどのようなえいきょうを与えましたか。教科書 96~97 ページを参考に調べ、取組シートやノートに書いてみよう。

# 

・江戸時代後半、新しい学問や文化を生み出した多くの人物(近松門左衛門、歌川広重、本居 宣長、杉田玄白、伊能忠敬など)が教科書に掲載されています。興味をもった人物について 詳しく調べることで、歴史を学ぶ楽しさを味わうことができます。